五一新聞

09.8.No147
発行責任 市岡昭夫
0883-88-5292

ことばの3

「宝」を守る為には

東祖谷の宝といえば、奥祖谷二重かずら橋、平家落人伝説、「祖谷の琴」と呼ぶ不思議な歴史などがすぐ頭に浮びます。
また、山また山に囲まれている自然。剣山、三嶺、天狗塚に代表される山も、大切な祖谷の宝といえます。
だからこそ、この宝を守り、次の世代に伝え残していくには、「たった今」だけの目先の事で対応してはいけないとおもいます。
いろいろな方面から考えを持ちより、他の方法はないか等検討をしてから実行すべきでとおもいます。
たとえば、三嶺に新たな登山道が作られると言う話を聞いた時、あのモノレールの時のように突然に出てきた話です。
今の登山道のどこがいけないのでしょうか。ルートの変更する時には、それなりの理由がなければいけないとおもいます。
どういう検討をし、どれだけ云く意見を求め決定(?)したのか知りませんけど、何故!!、
祖谷の山々、今、道なき道を歩いている登山愛好家も少なくないようです。自分だけ楽しむなら、まだしも、テープをいっぱい張って、自分のブログで公開してしまえば、今までなかった登山道が出来てきます。これも、問題ではないでしょうか。
とにかく、祖谷の宝を守るのは、祖谷で暮らしている私達の考え方が大切ですよ。

家と人とえんんでな

7月には、雨模様の日が多くて山野草の色が悪いとか、セミの鳴くのが少ないとかの話がよく聞かれました。
そんなて月ですが、釣井地区「ちいおり」では、多くの人がそれも外国人が訪れ、人が花が咲きみだれ、明るい、元気な一日が流れました。
これも縁の話です。
「ちいおり」のオーナー、アレックスカーさんの出身大学、エール大学関係の皆さんが来村。

〜エール大OBの皆さん〜

今月、面白かった本
「くう・ねる・のぐそ」
自然に「愛」のお返しを
伊沢正名著
山と渓谷社

わらじ作りに苦闘、みでは、各自のセンスで次々と編んでいき、完成してみれば、次の人もやりたくなり、以外と人気でした。
夜は篠宮麓コテージでは、「ひろう焼き」が大人、焼き肉よりも好評(?)。そして、祖谷の阿波踊り連であばれん坊しが踊り込み、外国人の皆さんもなぜか、日の丸の鉢巻きをしめて踊りに参加して徳島の祭りを楽しみました。
人と家をめぐる縁で多くの外国の人々が訪れている祖谷。
これも大切な宝ですよね。

なんてことない(?)祖谷の茅葺き屋根の家に、様々な心くばり気くばりで、「これぞ、おもてなし」の心でお迎えしました。
わらじ作り、かずらの力ゴ編み、ソバ打ちの体験も各自の好みでやってもらいました。
わらじでは、天狗でもはきそうな大きなのが作られたり、カゴ編